


グラツときたとき、安心していただける家ですか？



12月17日より伊豆半島東方沖で、活発な地震活動が続いています。
20日午前9時までに震度1以上を観測した地震の回数は158回を数えます。
いつ大きな地震がくるかわからない今、耐震性能の高い住宅を選ぶことが
大切です。

あなたの家はあなたの命を守ってくれますか？

土台は国産ヒノキ材。

4.5寸の太さ！

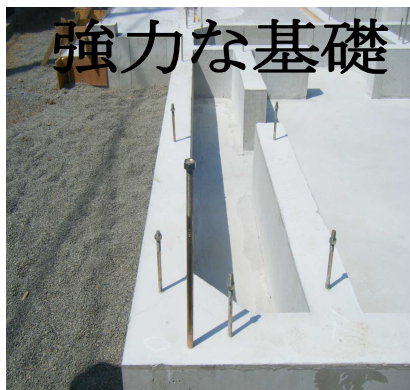
通常の住宅は **3.5**寸なので、その差は歴然です



図太い土台

強力な基礎

基礎のコーナーは斜めに補強することで、角に起こりやすい弱さを補強しています。基礎の強度は通常**18**ニュートンのところ**30**ニュートン！ビルが建つほどの強度です。



配筋のピットは

なんと**15cm**！

間取りを広くとるところでは、さらに細かくダブル配筋！



隙間のない配筋

LaLa 200年住宅だったら…



繰り返しの地震にも耐える
強度の耐震構造です！



筋交いと構造用合板で壁面を構成しているため、耐力壁の強さは**4.5倍**となり、2×4工法の2.5倍をはるかにしのぐ強さとなっています。

※柱と梁を連結するホールダウン金物
柱と筋交いを連結させるために筋交い金物により強度アップを図ります。



見学会にいらっしゃるお客様が、この基礎や土台をご覧になると、他と比べものにならないすごさに圧倒されます。「他の家の柱は割り箸に見える」「これだけの配筋は見たことがない！」そんなうれしいお言葉をいただきます。現場が本音を語ってくれます。今までにないこの現場が全てを語ってくれるのです。地震に心配の皆様。特別に現場にご案内することも出来ます。「百聞は一見にしかず」是非ご覧下さい。